

大会企画シンポジウム 6月30日（土曜日） 16:00—18:00

2階 大会議室

『日本におけるコミュニティ心理学のこれから』

シンポジスト : 藤後悦子 氏(東京未来大学)
久田 満 氏(上智大学)
植村勝彦 氏(愛知淑徳大学)
星野 命 氏
(北陸大学、国際基督教大学名誉教授)
安藤延男 氏
(西南女学院大学、九州大学名誉教授)

司会 : 高島克子 氏(東京女子大学)
企画 : 北島茂樹 (産業医科大学)

大会企画講演 7月1日（日曜日） 10:00—12:00

2階 大会議室

『現実介入しつつ、心に関わる』

演者 : 田嶋誠一 (九州大学大学院)
コメンテータ : 塩谷 亨 氏(金沢工業大学)
司会 : 平川忠敏 氏(鹿児島大学)

倫理委員会企画 調査報告とワークショップ
7月1日（日曜日）13:30-15:30

2階 大会議室

『学会員の倫理に関する意識』

-質問紙調査報告と意識啓発のためのワークショップ-

報告者とファシリテータ : 井上孝代 氏(明治学院大学)
村本邦子 氏(立命館大学)
若林佳史 氏(大妻女子大学)
加賀美常美代 氏(お茶の水女子大学)
コメンテータ : 高畠克子 氏(東京女子大学)
企画・進行 : 加賀美常美代 氏(お茶の水女子大学)

研究委員会企画教育講演
7月1日（日曜日）15:40-17:10

2階 大会議室

『コミュニティワークに学ぼう』

演者 : 武田信子 氏(武蔵大学)
企画・司会 : 吉武清實 氏(東北大学)

自主ミニシンポジウム
7月1日（日曜日）15:40-17:10

2階 中会議室

**『メンタリング・プログラムによる
コミュニティ再生の可能性を探る』**

シンポジスト : 渡辺かよ子 氏(愛知淑徳大学)
久村恵子 氏(南山大学)
佐野 達 氏(慶應義塾大学大学院博士課程)
オーガナイザー : 渡辺直登 氏(慶應義塾大学)

研究発表 6月30日(土曜日)

口頭発表 1 (10:00-12:00)

2階 大会議室

座長:塩谷 亨(金沢工業大学心理科学研究所)・増田真也(慶應義塾大学)

10:00-10:30

生徒の自殺予防・介入・予後の取組

菊地まり(東京都立新宿山吹高等学校)

10:30-11:00

大学教養教育授業を活用したこころの健康を高める力の育成:
ストレス管理を中心にして

中村菜々子(比治山大学 現代文化学部)

11:00-11:30

看護師のバーンアウト予防に関する考察
ーコミュニティ感覚に着目してー

水野正延(岐阜医療科学大学)
植村勝彦(愛知淑徳大学)

11:30-12:00

EAP活動に寄与する心理学的測度の開発(1):
研究版開発の目的と紹介

塩谷 亨(金沢工業大学心理科学研究所)
福田紗織(金沢工業大学心理科学研究科)
近江正雄(金沢工業大学人間情報システム研究所)

研究発表 6月30日（土曜日）

口頭発表 2（10:00-12:00）

2階 中会議室

座長：羽下大信（甲南大学）・深尾 誠（大分大学）

10：00－10：30

ひきこもり当事者のコミュニティ作りに関する実践研究

板東充彦（九州大学）

10：30－11：00

ひきこもり状態にある人の受療意欲と問題行動の関連

境 泉洋（徳島大学）

11：00－11：30

コミュニティ・サポートとしての「男性のための非暴力グループワーク」

羽下大信（甲南大学）

11：30－12：00

自殺による死別体験者を対象とするサポート・グループの現状と課題：

R市でのグループにおける参加者の継続動向と満足度の推移から

梁 誠崇（大阪大学大学院人間科学研究科）

研究発表 6月30日（土曜日）

口頭発表 3（13:00-15:30）

2階 大会議室

座長：箕口雅博（立教大学）・目黒信子（京都創成大学）

13:00-13:30

研究者-コミュニティパートナーシップに基づく予防プログラムの実践(1)
-コミュニティ心理学者と学校コミュニティとのパートナーシップ・モデルの開発-

岡崎琴恵(お茶の水女子大学大学院)

池田 満(国際基督教大学大学院)

13:30-14:00

研究者-コミュニティパートナーシップに基づく予防プログラムの実践(2)
-教員のバーンアウト予防プログラム開発のためのニーズアセスメント-

池田 満(国際基督教大学大学院)

岡崎琴恵(お茶の水女子大学大学院)

14:00-14:30

スクールカウンセラーの学校コミュニティへの関わり

-子ども同士のケアコミュニティを基礎として危機的状況の生徒を支援した事例-

目黒信子(京都創成大学)

14:30-15:00

学校コミュニティにおける心理相談員の「入り方」

～システムズアプローチの観点から～

山本耕太(目白大学大学院心理学研究科)

箕口雅博(立教大学)

15:00-15:30

スクールカウンセリングにおける校内心理スタッフ間の連携に関する考察

澤 聡一(九州大学こころとそだちの相談室)

研究発表 6月30日(土曜日)

口頭発表 4 (13:00-16:00)

2階 中会議室

座長:新 雅子(私塾「復帰塾」)・丹羽郁夫(法政大学)

13:00-13:30

対人援助職の心理職に対する援助要請意欲の測定とその関連要因
ー介護支援専門員を対象にー

大島みどり(上智大学大学院)
久田 満(上智大学)

13:30-14:00

小児心臓外科医の説明に対する母親の意識
ーソーシャルサポート及びQOLとの関連を中心にー

水野泰尚(上智大学)
川上華代(上智大学)
大島みどり(上智大学)
江川倫子(上智大学)
久田 満(上智大学)

14:00-14:30

犯罪被害者本人が望む援助と援助者が提供する援助の
食い違いについての検討

小杉幹子(目白大学大学院心理学研究科)
原 裕視(目白大学)

14:30-15:00

中学校における“夜間校内適応指導教室”の実践

姫島源太郎(九州大学大学院人間環境学府)
阿部悦子(福岡市こども総合相談センター)
井上里美(九州大学大学院人間環境学府)
田嶋誠一(九州大学大学院人間環境学研究院)

15 : 00 - 15 : 30

**コミュニティ感覚とエンパワメントとの相互作用の視点から捉えた
主体的地域参加**

安田節之(早稲田大学人間科学学術院)

15 : 30 - 16 : 00

**滞日日系ブラジル人親子の進路意識と学校適応感との関連
ーブラジル人学校と公立小学校の比較からー**

杉岡正典(広島大学大学院教育学研究科)

研究発表 6月30日（土曜日）

ポスター発表 A（10:30－12:30）

1階 展示コーナー

責任在席時間 PA1～PA6 10:30－11:30 ， PA7～PA11 11:30～12:30

P A 1

家族コミュニティとの距離が青年期における家族との相互作用におよぼす影響
—PAC 分析インタビューを用いて—

岡 桃子(立教大学コミュニティ福祉学部)

P A 2

社会的「場」への参加が、サポート資源および対人ストレスの量に及ぼす影響
—市川市ランダムサンプリング調査による検討—

源氏田憲一(一橋大学大学院社会学研究科)

P A 3

コミュニティに根ざした外国人の子どもへの心理的支援の可能性
—日本語ボランティアへの聞き取り調査の分析から—

竹山典子(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科)

葛西真記子(鳴門教育大学)

P A 4

多様な学生に対する留学生支援についての一考察

大西晶子(東京大学留学生センター)

P A 5

日本におけるインドシナ難民女性に対する定住支援の課題
—ヴェトナム難民女性への量的・質的調査をもとに—

小柳紘介(国立武蔵野学院)

箕口雅博(立教大学)

山本耕太(目白大学大学院)

P A 6

「青年期版 無効化環境体験尺度」開発の予備的検討

社浦竜太(ものづくり大学 学生相談室)

斎藤富由起(千里金蘭大学)

P A 7

保育士のメンタルヘルスケアへの介入

藤後悦子(東京未来大学)

P A 8

子育て・保育現場へのコミュニティ心理学的介入

－保育士に対する心理教育プログラム導入のための事前調査－

須賀田真理(立教大学大学院現代心理学研究科)

下山修司(順天堂大学医学部精神医学講座)

米山祐子(立教大学大学院現代心理学研究科)

P A 9

**トラックドライバーにおける職務と対人関係のストレスが
メンタルヘルスに与える影響**

杉浦久美子(国立病院機構久里浜アルコール症センター)

丹羽郁夫(法政大学)

P A 10

中年期以降の女性のライフキャリア発達支援とエンパワメント

中川浩子(東京女子大学大学院人間科学研究科)

P A 11

自己開発を目的とした集団コラージュ法(集団集団法)にみる

自己理解と他者理解のプロセスについて

赤田太郎(社会福祉法人聖ヨハネ学園 龍谷大学大学院文学研究科)

研究発表 6月30日(土曜日)

ポスター発表 B (14:00-16:00)

1階 展示コーナー

責任在席時間 PB1~PB6 14:00~15:00 , PB7~PB12 15:00~16:00

P B 1

EAP 活動に寄与する心理学的測度の開発(2):

研究版の各尺度得点の記述統計量と内の一貫性

福田紗織(金沢工業大学心理科学研究科)

塩谷 亨(金沢工業大学心理科学研究所)

近江政雄(金沢工業大学人間情報システム研究所)

P B 2

中学生のソーシャルサポート・ネットワークと不適應の関連

—自己と他者への肯定感を中心として—

本田 絢(九州大学大学院 人間環境学府)

P B 3

中学生の居場所としての友人関係形成プロセスの研究

—GTAを用いて—

勝田紗代(世田谷区子ども家庭支援児童指導員)

P B 4

大学による地域教育相談ネットワーク形成

—その取り組みと課題、展望に関する考察—

渡辺由己(吉備国際大学)

P B 5

美容専門学校における学生相談活動の実践と展開

～コミュニティへのアプローチを通して～

井家弓歌(九州大学)

P B 6

**家庭・学校・地域社会の連携・協働による教育システムの構築
—「協育」ネットワークシステムの形成を中心にして—**

山崎清男(大分大学)
深尾 誠(大分大学)

P B 7

発達障害児のいるきょうだいの親子関係が自己主張に及ぼす影響

張 学偉(鹿児島大学医歯学総合研究科)

P B 8

障害のある子どもの支援ネットワークの形成と連携

菅井裕行(宮城教育大学)

P B 9

**「学生保育サポーター事業」の効果について
—NPO 法人ドロップインセンターとの共同研究—**

川瀬隆千(宮崎公立大学)

P B 10

**野球を通しての臨床心理地域援助活動
—臨床心理学の専門家によるボランティア活動の一形態として—**

伊原 出(九州大学)

P B 11

**「都市ひとり暮らし」高齢者の生涯発達援助システムを考える
—当事者と大学院生が参加するエンカウンター・グループの試みから—**

小林紀子(市立池田病院)
岩堂美智子(相愛大学)

P B 12

**石川県内の介護施設職員のストレス調査報告(1):
施設の種類による GHQ30 の合計得点に関して**

近江政雄(金沢工業大学人間情報システム研究所)
塩谷 亨(金沢工業大学心理科学研究所)
八田菜美子(金沢工業大学心理科学研究所)